

# 日本工学教育協会 第66回年次大会参加報告

技術第3班 伊藤 眞子

## 1. 概要

大会のメインテーマ「ものづくり/ことづくりのための工学教育」のもと、工学教育としての「ものづくり」は特に多様な基礎力・専門力が求められる理工系人材育成のための工学教育の方向性と、それを支えるべきダイバーシティのある教育体制について議論した。

## 2. 日程など

日時: 平成30年8月29日(水)～31日(金)

会場: 名古屋工業大学

主催: 日本工学教育協会 東海工学教育協会

後援: 文部科学省, 経済産業省

<1日目8月29日(水)>

工学教育研究講演会Ⅰ 開会挨拶 (8:55～9:00)

工学教育賞受賞者講演会 (10:30～12:00)

第2回サロン (11:30～13:00)

「工学系の女性研究者として」同大学学長神保 睦子

年次大会開会式(13:00～13:30)

表彰式(13:30～14:15)

特別講演Ⅰ (14:30～16:30)

(1) 「Society5.0を担う専門人材の育成」

講師: 文部科学省高等教育局専門教育課長 松永 賢誕

(2) 「産業界における理工系人材の活躍にむけて」

講師: 経済産業省産業技術環境局大学連携推進室長

山崎 知巳

(3) 「工学教育のフロントランナーをめざして」

講師: 名古屋工業大学学長 鶴飼 裕之

<2日目8月30日(木)>

教育力向上セッション (10:45～12:00)

特別講演Ⅱ (13:10～14:00)

(1) 「Embedding Cross-Cultural Communication Awareness

and Skills Training in a Living Learning Community for First-Year Undergraduate Engineering Students」

講師: アメリカ工学教育協会前会長 Bevlee A. WATFORD

(2) 「Creative Satisfaction in Engineering Education」

講師: 韓国工学教育学会理事 Seong-Woo KIM

国際セッションⅡ (14:20～16:00)

<3日目8月31日(金)>

工学教育研究講演会Ⅴ (9:00～12:00)

工学教育研究講演会Ⅵ (13:15～14:30)

特別セッション「産学官連携を通じた実践的工学教育」 (14:45～16:30)

## 3. おわりに

オーガナイズド・セッション「社会実装を通じた科学技術イノベーション教育」にて「農産学官連携による商品開発を通じた社会実装教育の実践」と題して発表してきました。現在、第4次産業革命を意味する Industry4.0 という言葉が「ものづくり」にイノベーションを迫っています。人材育成には、さらに先を見越した対応が必要になるといわれています。価値観の転換や新たな価値を生み出す「ことづくり」の人材輩出が今まで以上に求められると考えられます。高専が取り組んでいる「社会実装プロジェクト」を推進することにより学生が社会に出ることで、自ら社会ニーズを発見し、社会と向き合い、学外協力者と価値を創出することにより実践技術、創造的思考力、コミュニティー力を学生が育むことを目的とした活動を今後も意識・実践し、当大会に参加したことを活かし、今後の教育研究技術支援センター業務に励みたいと思います。